

尾道草紙

16

はじめに

日本文学学科 教授
光原 百合

尾道市立大学創作民話の会発行『尾道草紙16』をお届けします。

本書は尾道市立大学日本文学科と美術学科の共同制作による作品集です。日本文学科学生による、尾道を舞台とするオリジナルの物語と、美術学科学生によるイラストで構成されています。昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルスの影響で共同制作作業にも様々な制約が生じました。

物語はいずれも、尾道の実在の場所をモチーフにしたもので、ぜひ本書を手にも、尾道を散策していただければ幸いです（42〜43ページに作品舞台を描いたイラストマップも準備しました）。実在の場所が物語の中でどう描かれたのか、と作者の工夫のしどころに着目いただければと思います。島しょ部に本を届けるため活躍していた図書館船「ひまわり」（近年、研究と再評価が進んでいます）が登場する作品もあり、当時をご存じの方にぜひご感想をお聞

きしたいところです。

毎号書いていますが、本書収録作品が、末永く尾道の街に根付くことを祈りつつ――。

表紙
絵・装丁・田中美帆

もくじ

02	はじめに	光原 百合
07	夏のオルガン	山下 恭佳
13	井戸の窓	竹内 万葉
19	自転車	畑本 ケンジ
23	光熱費とシュークリーム	稲垣 透也
31	桜葬	野島 伶音
41	創作民話マップ	原田 青空
44	執筆後記	
51	おわりに	世永 逸彦
52	編集後記	

